

平成 30 年 11 月 14 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 フ ォ ー サ イ ド
代 表 者 名 代 表 取 締 役 假 屋 勝
(JASDAQ・コード 2330)
問 合 せ 先 常 務 取 締 役 飯 田 潔
電 話 0 3 - 6 2 6 2 - 1 0 5 6

新株式発行等に関する資金支出時期変更のお知らせ

当社は、平成 29 年 12 月 27 日付「当社連結子会社における新たな事業の開始並びに第三者割当てにより発行される株式及び第 10 回新株予約権の募集並びに当社連結子会社における固定資産の取得に関するお知らせ」及び平成 30 年 4 月 11 日付「新株式発行等に関する資金支出予定時期変更のお知らせ」において開示いたしました、「調達する資金の具体的な使途」（以下、「資金使途」といいます。）について、資金の支出予定時期を変更することといたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 変更理由

当社は、平成 29 年 12 月 27 日付「当社連結子会社における新たな事業の開始並びに第三者割当てにより発行される株式及び第 10 回新株予約権の募集並びに当社連結子会社における固定資産の取得に関するお知らせ」及び平成 30 年 4 月 11 日付「新株式発行等に関する資金支出予定時期変更のお知らせ」にて開示いたしましたとおり、第三者割当増資による調達資金を、当社 100%子会社のフォーサイドフィナンシャルサービス株式会社において行うマイニングファーム（採掘工場：ビットコインやイーサリアム等を代表とした仮想通貨の生成を行う作業を行う）のマシン購入費及びマイニングファームセットアップ費用に平成 30 年 10 月までに充当する予定でございました。

平成 30 年 6 月中旬から第一段階としてカナダにてマイニングマシンを本格稼働しておりましたが、当初予想していた以上に仮想通貨市場の取引が縮小し、計画していたマイニング報酬の獲得に至りませんでした。さらにビットコイン相場の価格低迷も重なり、現時点においては市場の動向を見極める時間が必要という判断に至りました。よって、当社は、新株式発行及び第 10 回新株予約権の払込により調達した資金の支出予定時期に関して当初の計画を変更することと致しました。仮想通貨市場の動向及び外部環境の変化を見極めつつ、次世代マイニングマシンの導入を調整してまいります。

2. 変更の内容

資金使途の変更内容は以下のとおりであります。（変更箇所は__で示しております。）

なお、第10回新株予約権（以下、「本新株予約権」といいます。）は、平成30年11月14日時点で687百万円のうち137百万円が行使されております。

<変更前>

本新株式及び本新株予約権

具体的な使途	金額（百万円）	支出予定時期
--------	---------	--------

①	マイニングファームのマシンの購入	447	平成30年1月から
	内訳 本新株式及び本新株予約権の払込による充当	(447)	平成30年9月まで
②	マイニングファームセットアップ費用	117	平成30年1月から
	内訳 本新株式による充当	(117)	平成30年10月まで
③	マイニングファームのマシンの追加購入	548	平成30年4月から
	内訳 本新株予約権の行使による充当	(548)	平成32年12月まで
④	マイニングファームのマシンの追加購入によるセットアップ費用	138	平成30年4月から
	内訳 本新株予約権の行使による充当	(138)	平成32年12月まで

※調達資金を実際に支出するまでは、資産の保全を目的とし、普通預金にて運用していく予定であります。本新株予約権の行使状況により、本新株予約権の行使による調達金額が上記「(1) 調達する資金の額」に記載の金額に満たない場合には、マイニングファームのマシンの追加購入数量を減らし、③及び④に記載の支出予定金額を減額する予定です。

<変更後>

本新株式及び本新株予約権

	具体的な用途	金額(百万円)	支出予定時期
①	マイニングファームの次世代マシンの購入	447	平成30年1月から
	内訳 本新株式及び本新株予約権の払込による充当	(447)	平成32年12月まで
②	マイニングファームセットアップ費用	117	平成30年1月から
	内訳 本新株式による充当	(117)	平成32年12月まで
③	マイニングファームの次世代マシンの追加購入	548	平成30年4月から
	内訳 本新株予約権の行使による充当	(548)	平成32年12月まで
④	マイニングファームの次世代マシンの追加購入によるセットアップ費用	138	平成30年4月から
	内訳 本新株予約権の行使による充当	(138)	平成32年12月まで

※調達資金を実際に支出するまでは、資産の保全を目的とし、普通預金にて運用していく予定であります。本新株予約権の行使状況により、本新株予約権の行使による調達金額が上記「(1) 調達する資金の額」に記載の金額に満たない場合には、マイニングファームのマシンの追加購入数量を減らし、③及び④に記載の支出予定金額を減額する予定です。

以上